

平成21年度



祝 福岡市制
120周年

ふくおかし の 家計簿

福岡市の
平成21年度予算
財政状況
財政健全化に向けた取り組み
を紹介します！

目次

予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？平成21年度の予算は？…………… 01
- 収入（歳入）と支出（歳出）の内訳は？…………… 01～02
- 市民一人あたりにすると？…………… 03
- 予算を「家計」に例えると？…………… 04
- どのような事業に使うの？…………… 05～10
- 平成21年度における財政健全化の取り組みは？… 11～12

福岡市の財政状況はどうかの？

- 借金はいくらあるの？なぜ借金が増えたの？…… 13
- 他の政令指定都市と比べるとどうかの？…………… 14
- 収入や支出はどうなってるの？…………… 15～16
- このままだと福岡市の財政はどうなるの？…… 16

福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 財政健全化の取り組みは？…………… 17～18



1 予算とは？ 何に使っているの？

【この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。】

●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

●平成21年度の予算は？（ ）は前年度

用語の解説

一般会計

福祉、教育などの行政の基本的な事業を行う会計（予算の中心）です。

◎ **全会計 1兆8,536億円** 前年度比 3.0%減
(1兆9,113億円)

政令指定都市（18都市中）では、大阪市、横浜市、名古屋市、札幌市、神戸市、京都市について7番目の規模です。

◎ **一般会計 6,922億円** 前年度比 4.3%増
(6,638億円)

財政健全化を進めながら、必要な施策はしっかりと！



◎ **特別会計 8,928億円** 前年度比 6.4%減
(9,542億円)

特別会計は、使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。福岡市には現在17会計（国民健康保険事業、介護保険事業など）があります。

◎ **企業会計 2,685億円** 前年度比 8.4%減
(2,932億円)

企業会計は、民間企業と同じように事業収益で賄われている会計です。福岡市には、現在5会計（病院、下水道、水道、工業用水、地下鉄）があります。

●収入（歳入）と支出（歳出）の内訳は？

①一般会計の収入（歳入）

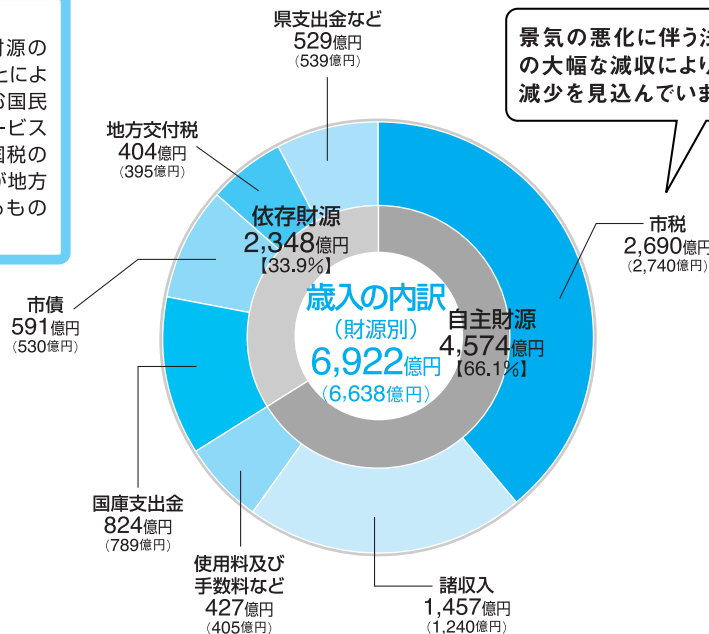
収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金があります。

（ ）は前年度、【 】は構成比

用語の解説

地方交付税

地方公共団体間の財源の不均衡を調整することによって、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう、国税の一定割合の額を、国が地方公共団体に交付するものです。



景気の悪化に伴う法人市民税の大幅な減収により、市税は減少を見込んでいます。

用語の解説

歳入・歳出
会計年度内の収入・支出の総称です。

用語の解説

自主財源と依存財源
歳入には、市税など市が自らの判断で収入できる自主財源と地方交付税や国庫支出金（補助金）等、国などから割り当てられる依存財源とがあります。自主財源の比率が高いほど自主的な財政運営ができるといえます。

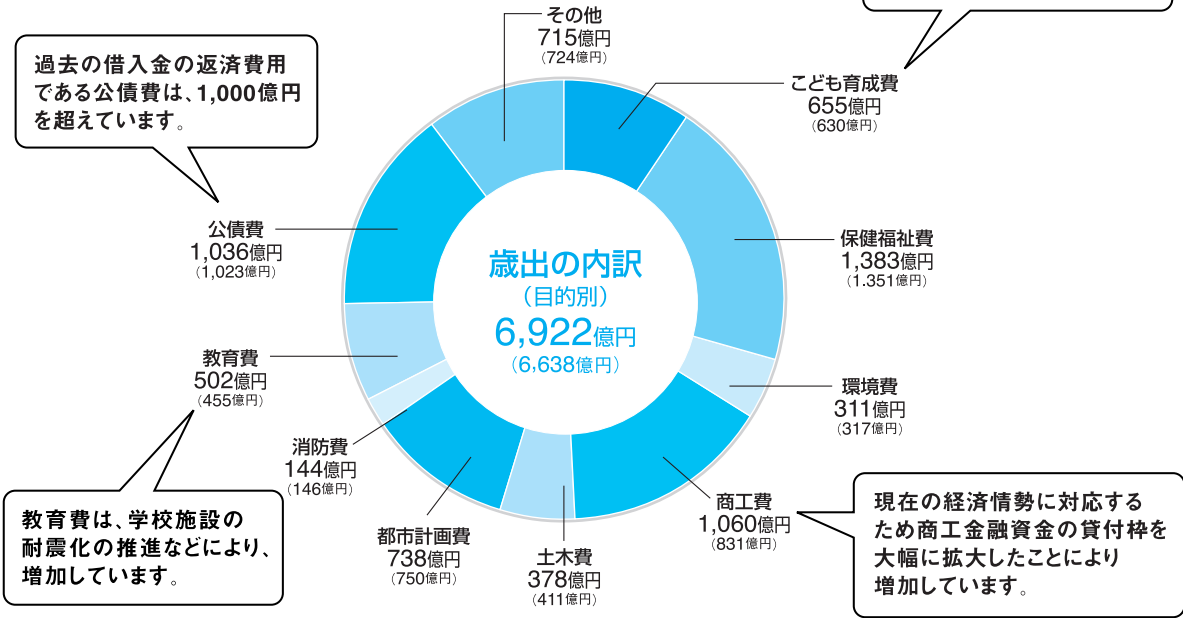
②一般会計の支出(歳出)

【目的別】

予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。
()は前年度

過去の借入金の返済費用である公債費は、1,000億円を超えています。

妊婦健診の拡充や保育所運営費など子育て支援の充実のため、増加しています。



【性質別】

予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からもどれだけ使うのかが見ることができます。
()は前年度、【 】は構成比

用語の解説

投資的経費

道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費です。

用語の解説

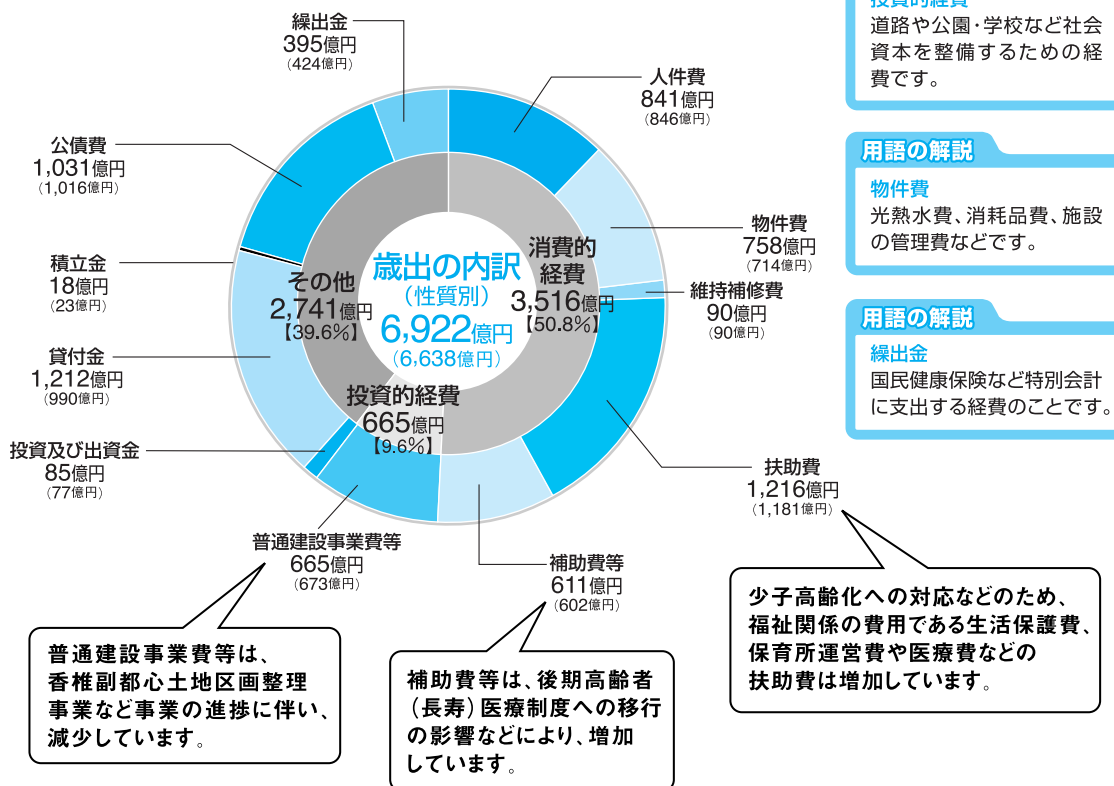
物件費

光熱水費、消耗品費、施設の管理費などです。

用語の解説

繰出金













国民健康保険など特別会計に支出する経費のことです。



※【性質別】の前年度の合計には災害復旧事業費の2億円を含みます。

●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると48万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成21年度予算		
	億円	市民1人あたりの予算	
 保健・医療・福祉に	1,398	97,000	(20.2%)
 道路・住宅・計画的なまちづくりに	996	69,000	(14.4%)
 地域経済の発展に	1,204	83,000	(17.4%)
 こどもの育成に	657	46,000	(9.5%)
 行政の運営に	543	38,000	(7.8%)
 学校や教育に	548	38,000	(7.9%)
 災害に強いまちに	455	32,000	(6.6%)
 清潔なまちに	339	23,000	(4.9%)
 地下鉄・水道事業の支援に	274	19,000	(4.0%)
 地域活動・文化・スポーツに	192	13,000	(2.8%)
 公園整備や緑の保全に	183	13,000	(2.6%)
 新鮮で安全な食料の提供に	133	9,000	(1.9%)
合計	6,922	480,000	(100.0%)

日本一子育てしやすいまちづくりを目指し、多様な保育サービスの充実などに取り組めます。

学校施設の耐震化に積極的に取り組めます。

公園の再整備に取り組めます。

市民一人あたりの予算48万円は、政令指定都市中、5番目の多さです。

※平成21年1月1日現在の人口(144万973人)で割っています。

※()内は、構成比を示しています。

●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(6,922億円)を年間の収支が500万円の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

ふくおか家・1カ月の家計簿

《収入》

給与	30万6,000円
（うち基本給 （市税などの自主財源） 諸手当 （地方交付税、国・県支出金など）	20万円 10万6,000円
銀行からの借入 （市債）	3万5,000円
貸したお金の返済金 （貸付金元利収入）	7万5,000円
計	41万6,000円

《支出》

家族の医療費 （扶助費）	7万3,000円	} 義務的経費
ローンの返済 （公債費）	6万2,000円	
食費 （人件費）	5万1,000円	
光熱費や通信費など （物件費）	4万7,000円	
家・車・電化製品の修理・買い換え （維持修理費、普通建設事業費）	4万5,000円	
家族への仕送り （繰出金、補助費）	6万円	
友人などへ貸すお金 （貸付金）	7万8,000円	
計	41万6,000円	

ローンを6万2,000円返済する一方、新たな借入は3万5,000円に抑えました。借金残高を減らす努力をしています。



家族の医療費（生活保護費などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額の占める義務的経費の割合は、44.6%となっています。

●どのような事業に使うの？

平成21年度は、景気悪化に伴う地域経済に適切に対応するため、**経済対策や雇用対策を最重要課題**として、積極的に取り組むとともに、まちづくりの目標像である**「こども」、「環境」、「アジア」**の実現をめざして、子育てや福祉など市民生活に身近な課題への対応や将来の都市の成長につながる取り組みを実施していきます。

最重要課題 経済・雇用対策に積極的に取り組みます。

経済対策

中小企業の経営強化を図りながら地域経済の下支えを行います。

緊急経営支援

○新規貸付枠の確保（商工金融資金）

過去最大規模となる十分な融資枠を確保
（新規貸付枠：944億円→1,444億円に拡大）

○融資制度の充実

融資条件などを緩和させた緊急経営安定化特別資金を創設

公共事業

○公共事業の発注、施行および代金支払いの迅速化などの支援策を実施

○公共事業の積極的な前倒しによる切れ目のない事業実施と事業費の確保

前年度補正予算との合計では、前年度当初予算を大幅に上回る事業費を確保



景気や雇用情勢の急激な悪化に対応するため、経済・雇用対策にしっかりと取り組みます。

雇用対策

就業機会の創出や離職者への支援などに取り組みます。

雇用の創出・就労の促進

○雇用対策創出2基金を活用した雇用創出事業を実施します

（教育情報データベース化、公園・街路樹などの環境美化などの雇用を創出）

○正社員チャレンジ応援事業

30代フリーターの方の正社員としての就職を支援

○会社合同説明会

福岡商工会議所と共同で、会社合同説明会を開催

○コミュニティビジネス（CB）の振興

生活資金等の貸付・住宅提供

○市離職者緊急支援つなぎ資金の貸付

一定要件に該当する人に5万円を限度として生活資金等を無利子で貸付

○解雇等により住居を喪失した人への市営住宅の提供（10戸）

○離職者への緊急避難的な居住支援

「笑顔があふれ、明るく元気に**子ども**が育つ街・福岡」の実現

1.教育力の向上

子どもたちの基礎・基本的な学力の定着を図るとともに、子どもの多様な個性に対応できる教育環境づくり等の充実を図ります。

不登校ひきこもり対策強化事業 1億5,365万円

中学校1年生で少人数学級を導入し、不登校対応教員20人を配置します。

特別支援教育支援員等の配置 5,715万円

小中学校に在籍する障がいのある児童生徒の支援を行うため、支援員を配置します。

2.自立し、たくましく 生きる力の向上

子どもたちが様々な体験・活動ができる場や機会の提供に取り組むとともに、子どもたちを育むネットワークの強化を図ります。

放課後等の遊び場づくり事業 7,597万円

放課後等に学校施設を利用して、遊びや活動ができる場をつくります。

(モデル校:7→14校)



3.子どもと子育てを大切にするまちづくり

子どもや保護者への支援を充実し、安心して生み育てられる環境づくりや子どもたちの健やかな成長を大切にする施策の充実を図ります。

妊婦健康診査の拡充

11億9,042万円

赤ちゃんの成長とお母さんの健康を保持するために重要な妊婦健康診査の助成を拡充します。

【助成回数】

5回→14回に
拡充

【助成対象】

里帰り先や助産所
での健診も助成対
象に拡充



子どもプラザ事業

1億7,997万円

乳幼児とその保護者がいつでも利用でき、子育てに関する相談や情報交換ができる「子どもプラザ」が、7ヵ所から14ヵ所になります。



「子育て支援課」推進事業
3,630万円

区における子どもに関する相談窓口として、各区に「子育て支援課」を設置します。

4.ワーク・ライフ・バランスの推進

市民一人ひとりが仕事、家庭、地域活動など、バランスのとれた生き方ができる社会の形成を目指します。

市民や企業と共働した子育て支援 650万円

企業経営者向けトップセミナー、市政だよりタブロイド版の発行などを行います。

5.健康福祉のまちづくり

地域における健康づくり、介護予防等を推進するとともに、高齢者の社会参加の場の創設や、障がい者が地域で安心して生活できるよう環境整備を図っていきます

重度心身障がい者医療費助成
43億5,449万円

自己負担無料を継続し、対象者を精神障がい者に拡大します。



認知症総合対策支援事業 3,809万円

認知症サポート医や地域で認知症の人を見守る認知症サポーターの養成などを

いきいきセンターふくおか
(地域包括支援センター)事業 8億8,469万円

高齢者の健康や福祉、介護などに関する総合相談窓口が28センターから39センターになります。

- 自立した生活を応援します。
- 皆さんの権利を守ります。
- 健康・福祉・介護などの相談をお受けします。



私たち専門職が
ご相談をお受けします。

6.安全で快適なまちづくり

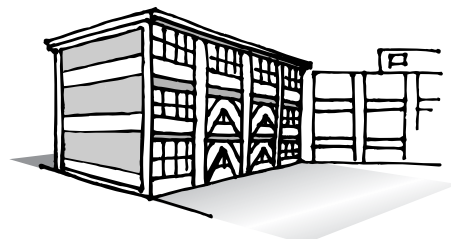
水害や地震などの自然災害への対応を確実に実施するとともに、市民生活に密着した生活道路の整備や、街頭犯罪の発生抑制などに取り組みます。

学校施設の耐震化 42億3,608万円

子どもたちの生命を地震被害から守り、災害時の市民生活を支えるために、計画を短縮して平成23年度までの事業完了を目指します。

新型インフルエンザ対策 1,642万円

医療機関の従事者用予防薬・備品の整備や行動マニュアルの策定などを行います。



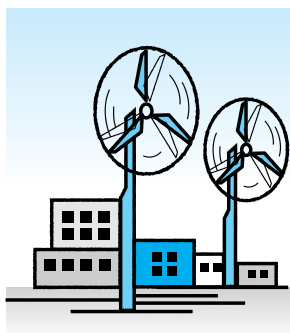
「市民も企業も皆が**環境**を大切にす健やかな街・福岡」の実現

7.コンパクトな環境共生都市づくり

地球温暖化やヒートアイランド現象への対応など、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換や省エネルギーのまちづくりを進めます。

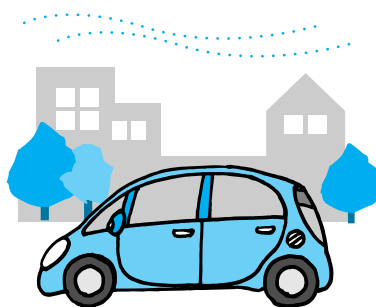
新エネルギーの導入促進 1億1,846万円

市施設への小型風力発電システム(2カ所)や、太陽光発電システム(5カ所)の導入などを実施します。



電気自動車の導入 3,052万円

地球温暖化防止対策の普及促進を図るため、電気自動車7台を導入し、各区役所で使用します。



「朝顔のカーテン」プロジェクトの拡大 648万円

例年、市役所庁舎の壁面を朝顔で覆い、CO₂排出量の削減効果があります。

今年も、継続して実施するほか、公民館などにも拡大します。



8.風格ある美しい都市づくり

本市の恵まれた自然を大切に、緑豊かな都市づくりに取り組むとともに、水と緑の保全を図り、そこに息づく生き物も大切にしたい環境と共生するまちづくりを進めます。

都心緑化推進事業 2,670万円

都心部緑の回遊計画の基礎調査や市民団体の公園花壇づくり支援などを行います。

千早駅前並木広場の整備 2億700万円

東部副都心の新たな核を形成する並木広場の整備に着手します。



公園再整備事業 11億1,414万円

市民の方々に親しまれる公園の再生を進めます。

●身近な公園の再整備

今後10年間に150カ所程度の再整備を目指します。

平成21年度については、各区1カ所程度の公園再整備及びワークショップ等による住民参加型の公園プランづくりを行います。

9.積極的なシティプロモーションによる活性化

本市の資源・魅力を最大限活用し、積極的なシティプロモーションを実施することにより、企業や観光客の誘致などを推進します。

九州縦断観光交流事業

250万円

九州新幹線全線開業を見据え、本市、熊本市、鹿児島市による共同観光プロモーション等を実施します。

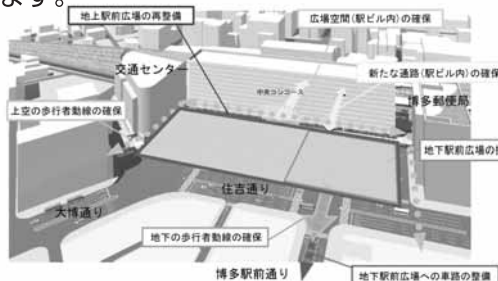
10.九州・アジア新時代の交流拠点都市づくり

集客機能の強化・物流拠点の形成及び知識創造産業の振興や、アジアや九州との連携・共働により、九州・アジア新時代の交流拠点都市を目指します。

博多駅前広場の再整備や歩行者ネットワークの充実強化の推進

16億7,100万円

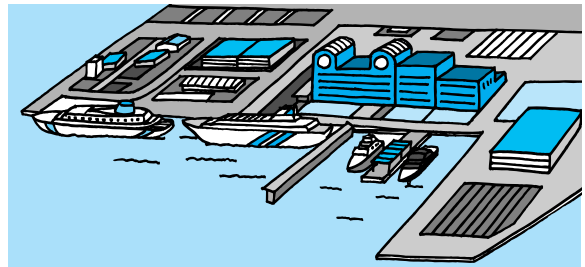
平成23年度の九州新幹線の博多駅乗り入れを契機として、博多口駅前広場の再整備などを行います。



中央ふ頭の基盤整備

18億9,242万円

九州・アジアの海の玄関口の形成、ゲートウェイ機能強化のため、交通広場、ターミナルの整備などを行います。



九州先端科学技術研究所の運営支援

3億5,024万円

IT・ナノテク関連分野に加え、カーエレクトロニクス関連分野の研究開発に取り組みます。

外国企業誘致推進

3,594万円

IT・半導体・自動車・物流等の分野の外国企業に対する誘致活動や進出サポートのほか、海外でのシティセールスを推進します。



市民生活の充実と
都市活力の創出のため、
重要施策にしっかり取り組みます。
重要施策のキーワードは
「こども」「環境」「アジア」
です。